

8月6日からの大雨に伴う被害等の状況

- ・8月7日に線状降水帯が発生し、県内全域で記録的な大雨となり、**県は災害対策本部を設置**
→ 金沢市：観測史上最大約331.5ミリの24時間雨量
- ・**昨日(8月7日)、金沢市に対し、災害救助法の適用を決定**

被害の状況

人的被害：なし

住家被害：一部破損 1棟、床上浸水 調査中、床下浸水 168棟 ※引き続き調査中

(8月8日(金)14時00分現在)

避難所の開設状況

本日6時30分にすべて閉鎖

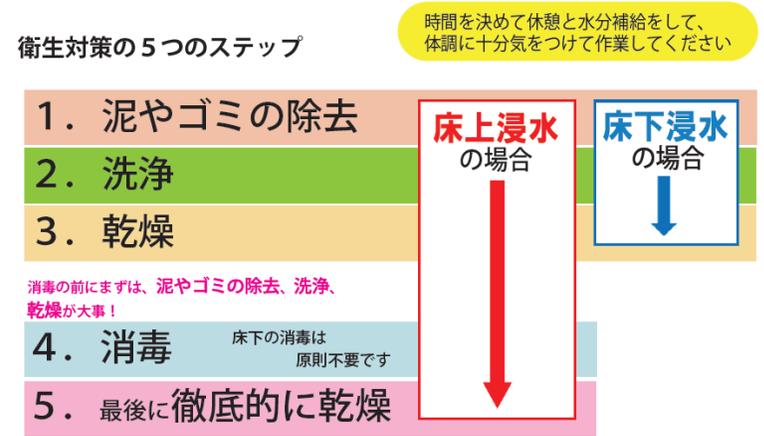
県管理道路通行止め

最大16箇所→現在4箇所

浸水被害に遭われた方々へ

- ・浸水した家屋は洗淨・乾燥・消毒といった適切な対応が重要です
- ・片づけ作業の際は、こまめに水分・塩分を補給し、休憩しながら、熱中症対策を万全に行ってください

浸水後の家屋への適切な対応



危機対策課 076(225)1480

健康推進課 076(225)1435

渇水調整連絡会（大聖寺川水系）の開催



- ・大聖寺川水系においては、一昨日から降雨があったものの、降雨量がわずかであり、減少傾向が継続していることから、本日15時より「渇水調整連絡会」を開催し、関係機関に取水量の制限を要請する
 - 発電所運転時間の削減 [発電事業者]
 - 農業用水量の削減 [地元用水組合]
- ・一方、犀川水系においては、一昨日からの降雨により貯水率が回復傾向にあることから、「渇水調整連絡会」の開催は見送り、引き続き状況を注視する

ダムの貯水率

		大聖寺川水系	犀川水系
		九谷ダム、我谷ダム	犀川ダム、内川ダム
貯水率	本日(8/8)	38%	52%
	一昨日(8/6)	39%	40%
	平均値(過去10年)	78%	64%
	最低値(過去10年)	33%(H30)	23%(R5)

「震災学習プログラム」のモニターツアーの開催

- ・県外からの修学旅行の誘致に向け、**昨年度、被災地の教訓を伝え、今後の災害に備えるための「震災学習プログラム」を策定**
- ・**学校関係者や旅行会社を招聘し**、修学旅行向け「震災学習プログラム」のモニターツアーを開催
- ・参加者からの助言を踏まえ、各プログラムの磨き上げを図るとともに、復興後を見据えた修学旅行の積極的な誘致活動に取り組む

モニターツアーの概要 <学校関係者向け>

日程 **8月19日(火)～21日(木)**
 参加者 **首都圏や関西圏の中学・高校の校長など6人**
 視察先 **能登6市町の学習プログラム**
 (道の駅すず塩田村→春蘭の里→能登ワイン→輪島朝市通り→福浦港→和倉温泉街→のと鉄道 (ほか))

視察先の例

◆七尾市 「和倉温泉の奇跡から学ぶ防災」

和倉温泉街で、地域の観光ガイドから、多数滞在する宿泊者全員を怪我人なく避難させた対応などを学ぶ



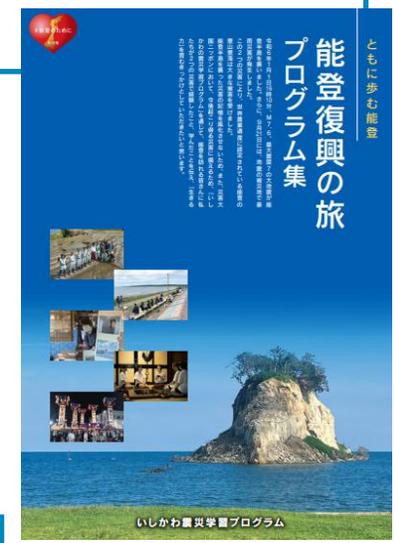
〈提供〉和倉温泉観光協会

◆穴水町 「のと鉄道『震災語り部観光列車』」

語り部である被災社員から、地震の影響や人々の思いなどについて、能登の車窓の風景を見ながら学ぶ



〈提供〉のと鉄道(株)



リーフレットはこちら



※旅行会社向けは12月頃に実施 (予定)

観光戦略課 076(225)1127



のと鉄道の新型車両デザインの一般投票

- のと鉄道では、令和8年度から令和10年度にかけて**全7両を更新し、新型車両を導入予定**
- 「**能登の再生と地域の希望を乗せる**」という思いを象徴する列車づくりを目指し、**愛着を持ち利用したくなる車両**となるよう、**車両デザインの一般投票を実施中**
- 4つのデザイン案から、皆様の投票結果を踏まえて決定

交通政策課 076(225)1330

投票期間

8月1日(金)～8月31日(日)

投票方法

パソコン・スマートフォンなどで、
のと鉄道ホームページ内の
専用フォームから投票



こちらからぜひ
ご投票ください



犯罪被害者等支援ワンストップサービスの運用開始



・**犯罪被害者等への支援は、医療面、生活面、経済面など多岐にわたり、支援主体も様々**

- <犯罪被害者等の抱える課題>
- ・利用できる支援の種類や窓口が分からず支援にたどり着けない
 - ・複数の支援機関を回って繰り返し被害状況などを説明することが大きな負担

・**犯罪被害者等の負担軽減と円滑な支援のため、9月1日からワンストップサービスを開始**

対象者

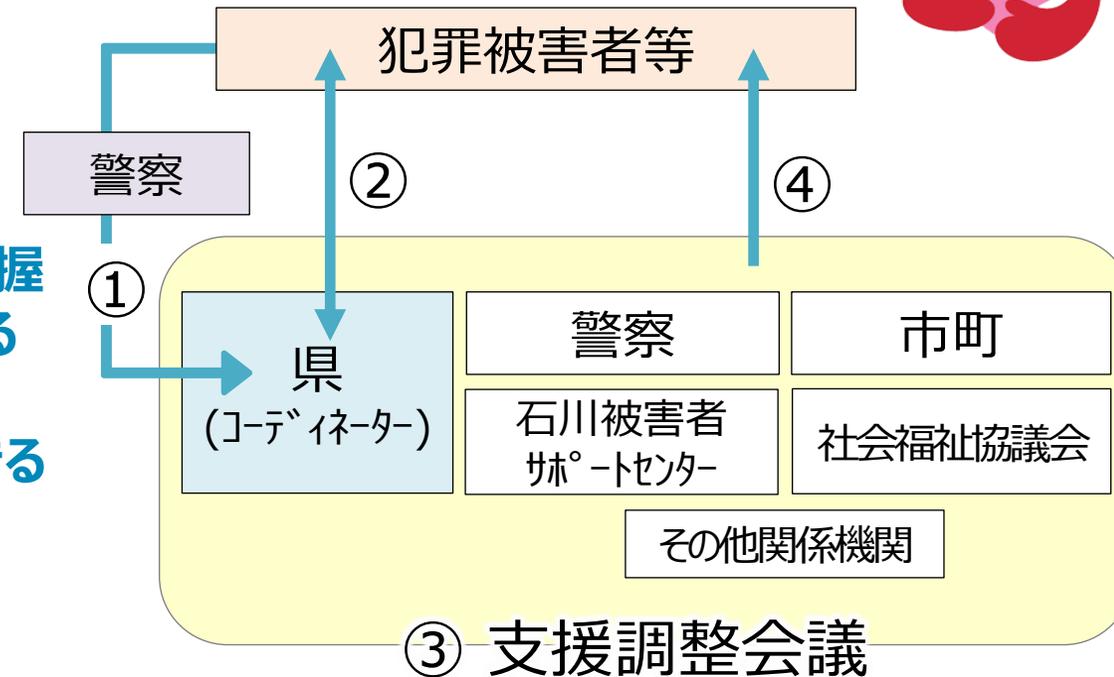
殺人、交通死亡事故、性犯罪などの被害者、家族、遺族

犯罪被害者等支援シンボルマーク
「ギョッとちゃん」



ワンストップサービスの概要（支援の流れ）

- ① 警察が**プッシュ型**で、被害者等から状況を聞き取り、**被害者等の同意を得て、コーディネーターに報告**
(県庁内に元県警職員1人配置)
- ② コーディネーターが被害者等と**面談し、ニーズを一元的に把握**
- ③ コーディネーターが支援計画を作成し、**支援機関が参加する会議を開催**
- ④ 被害者等が**必要な支援を漏れなく円滑に受け取ることができるよう調整し、支援を提供**



周知方法

- ・ 県ホームページやSNSなどで、制度を周知
- ・ 被害者等にはリーフレットなどで丁寧に制度を説明

外国人観光客へのSNSなどを活用したマナー啓発



- ・県内における**オーバーツーリズム**の予防的対策として、外国人観光客向けに**SNSなどの広告を活用したマナー啓発メッセージを、昨日(8月7日)から配信**
- ・日本の文化やマナーの理解を促し、**県民生活と観光客受け入れの両立を図る**

配信期間

昨日(8月7日)～ 順次配信

対象

本県を訪れる外国人観光客(英語、中国語(繁体字・簡体字))

配信媒体

SNS(Facebook・Instagram)、WEBサイト(旅行中(旅ナカ)で閲覧するサイト)

啓発内容

ゴミのポイ捨てを行わない、無断で写真撮影をしない、食べ歩きをしない など

(日本語訳)
ゴミ箱が見つからない!
ゴミはどうしたらいい?



(広告バナー)



クリックして、ウェブサイトに誘導

(日本語訳)
買ったお店で捨ててもらう
ようにお願いするか、
小さいゴミ袋を
持ち歩くようにする。

(県の外国語観光ウェブサイト)

※金沢市が制作したイラストを活用するなど、県・金沢市が連携してマナー啓発を実施